

1. 件名：LC0・AOT 質問回答についての原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和5年9月28日（木）16：00～17：15
3. 場所：原子力規制庁9階会議室
4. 出席者：  
原子力規制庁  
原子力規制部  
原子力規制企画課 黒川課長、藤森企画調査官、斎藤課長補佐、佐藤専門職、  
田代係長、金坂係員  
実用炉監視部門 菊川管理官補佐  
実用炉審査部門 小林管理官補佐、岡本上席安全審査官、福原管理官補佐  
検査監督総括課  
検査評価室 村上企画調査官  
  
原子力エネルギー協議会（ATENA） 理事 他3名
5. 要旨：  
○ATENA から、令和5年9月14日の面談での原子力規制庁からの指摘を踏まえ、資料1、2、3に基づき説明があった。  
○原子力規制庁から、以下の点について指摘し、今後開催予定の主要原子力施設設置者の原子力部門の責任者との意見交換会（以下「CNO 会議」という。）に向けて、引き続き準備を進めるよう伝えた。
  - 規制庁から、保安規定における運転上の制限（以下「LC0」という。）の全体的な見直しの計画等を示すように伝え、本日その説明を受けたが、全体的な計画が見えない。例えば、設計基準事故対処設備、重大事故等対処設備及び特定重大事故等対処施設において、各設備がLC0の逸脱になった場合、他区分の設備等の機能に期待して要求される措置の完了時間（AOT）の延長を行うのか等全体的な整理ができていないので、個別設備のLC0逸脱時の措置の完了時間の設定等の個別事項の整理を示す前に全体的な計画について説明して欲しい。○ATENA から、了解した旨回答があった。
6. 配布資料：  
資料1 SA設備の重要度に応じた効率的かつ効果的運用の推進  
ー保安規定における運転上の制限（LC0）等の改善についてー  
（面談における指摘事項の回答）  
資料2 リスク情報活用に係るこれまでの実績および今後の取組みについて（ドラフト）

資料3 ATENAにおけるリスク情報活用の具体例

－DB 設備、SA 設備の LCO 等の充実による安全性向上－（ドラフト）

以上